

ほっかいどう やかん ちゅうがく かい ほっかいどう しりつ がっこう きょうしよくいんくみあい きょうぎ かい はせがわ
 「北海道に夜間中学をつくる会」は7月7日(月)、北海道私立学校教職員組合協議会の長谷川
 いんちよう あ かつどう さつぼろえんゆうじゅく しえん ねが くだいひよう
 喜生委員長とお会いし、「つくる会」の活動や札幌遠友塾への支援をお願いしました。工藤代表、
 しみず じむきよく ちよう しらくら もり まるやま にん しゅつせき
 清水事務局長ほか、白倉、森、丸山の5人が出席しました。

くだいひよう さつぼろえんゆうじゅく じしゅ やかん ちゅうがく はじ ねんめ げんざい いた けいひ
 まず工藤代表が、札幌遠友塾自主夜間中学を始めたきっかけから19年目の現在に至る経緯を
 せつめい しっぱい かせ せんそう がっこう い ひと まな ぼ
 説明しました。それは、失敗を重ねながらも、戦争などで学校へ行けなかった人たちに学びの場を
 ていきよう さつぼろ しみん かいかん はいし さい か ぼしよ き こころいた げんざい さつぼろし きょういく
 提供し、札幌市民会館が廃止の際は、代替りの場所が決まらず心痛めたこと、現在は札幌市教育
 ぶんか かいかん しょうりよう はんがく げんめんそち う きょうざい おぼ じゅこう せい ふ
 文化会館で使用料半額の減免措置を受けているが、教材などの置き場がないこと、受講生も増え
 きょうしつ ふ じかん すう きょうか じゅじつ じゅこう せい ようぼう こた
 ており教室を増やしたいことや、時間数や教科をもっと充実させ受講生の要望に応えたいことなど
 ちゅうごくざんりゆうこじ ひと にほんご きょうしつ
 です。これからは、中国残留孤児の人たちもおおり、できれば日本語教室もつくりたいこと、そのため、
 じゅこう せい ゆめ がっこう きょうしつ か さつぼろし さつぼろしきょうい こうしよう つづ
 受講生たちの夢でもある学校の教室を借りようと、これまで札幌市や札幌市教委と交渉を続けて
 しきょうい あ きょうしつ かいどう じつげん はな
 います。しかし、市教委は「空き教室はない」との回答で、いまだに実現していないことなどを話し
 ました。

さつぼろしきょうい こんかい なつやす ちゅう しこう かたち がっこう しせつ しょう ていあん
 ただ、札幌市教委は今回、夏休み中の試行という形で、学校施設の使用を提案してきており、
 ゆめじつげん あし ていあん う しこう じゅぎょう つた
 夢実現への足がかりとして、提案を受けて試行授業をすることにしたことも伝えました。

さつぼろし さつぼろしきょうい さつぼろ しぎかい どう どうきょうい どう ぎかい はたら
 また、札幌市や札幌市教委、札幌市議会、道や道教委、道議会へ働きかけしてきた、これまで
 しりよう ほうどう わた かい ぎょうせい たい こうもく ようぼう せつめい
 の資料や報道のコピーなどをお渡しし、「つくる会」の行政に対する5項目要望についても説明し
 とく ひろ ほっかいどう とくしゅ せい かくち さつぼろえんゆうじゅく じしゅ やかん ちゅうがく まな ぼ
 ました。特に広い北海道の特殊性から、各地に札幌遠友塾のような自主夜間中学の「学びの場」
 ひつよう さつぼろし こうてき やくわり にな こうりつ やかん ちゅうがく せつりつ もと
 が必要であり、さらに、札幌市にそれらのセンター校的役割を担う公立夜間中学の設立を求めて
 はな しらくら ようぼう ひと こうてき ぶんしよ ふ つ
 いることを話しました。白倉さんは、要望の1つである「公的文書などの振りがな付け」について、
 かんじ まな ひと びょういん しよめん かんぼん よ こま
 漢字やアルファベットを学べなかった人たちが、病院などの書面や看板が読めずに困っている
 せつじつ もんだい うった
 切実な問題があることを訴えました。

はせがわ いんちよう さつぼろえんゆうじゅく かつどう しんぶん き ぐたいてき き
 長谷川委員長は、札幌遠友塾などの活動は新聞やニュースで聞いてはいたが、具体的に聞く
 はじ じゅこう せい お た こうせい きょうか すう じゅぎょう きょうざいさくせい
 のは初めてといい、受講生の生い立ちやスタッフ構成、教科数、授業のようすや教材作成の
 くらうぼなし き かんしん も うえ ちい くみあい
 苦労話を聞くなど、関心を持ってくれました。その上で「小さな組合だが、できることがあれば」と
 きょうりよく もう で
 協力を申し出てくれました。

くだいひよう さつきょうそ ほつきょうそ ねが こうりつ やかん ちゅうがっこう せつりつ そしき うんどう
 工藤代表は、「札幌教組や北教組にもお願いしているが、公立夜間中学校の設立を組織の運動
 ほうしん と あ ようせい じしゅ やかん ちゅうがく がっこう きょうしつ か
 方針に取り上げられないだろうか」と要請しました。さらに、自主夜間中学が学校の教室を借りるに
 せんせいがた きょうりよく か せんせいがた やかん ちゅうがく し しょうかい
 は先生方の協力が欠かせないことから、「まず先生方に夜間中学というものを知ってほしい。紹介

しりょう はなし きかい ねが
した資料やビデオなどもあるので、お話 する機会をつくっていただければ」とお願いしました。

もり しみず きょういん たちば い まな ほんとう きょういく さき
森さん、清水さんは教員だった立場から、生きるための学びが本当の教育であること、支えあえ
しゃかい きょういく さっぽろえんゆうじゅく まな ば つよ うった
る社会をつくるのが教育であること、そして札幌遠友塾はまさにその学びの場であることを強く訴え、
いちど じゅぎょうけんがく ようせい
一度授業見学にきてくれるよう要請しました。

たい はせがわ いいんちょう い わたし おうえん
これに対して長谷川委員長は、「ぜひ行かせていただきたい。また、私たちにどんな応援ができ
けんとう しりょう お こうこう がっこう せかい し
るか検討したい。資料を置くのはすぐできることだし、ほとんど高校など学校の世界しか知らない
せんせいがた えんゆうじゅく はな き おも きょうりよく やくそく
先生方に、遠友塾のお話を聞いてもらうのはいいことだと思う」と協力を約束してくれました。

いじょう
以上